

## 令和7年度 県民意見募集（再評価事業）の結果と対応

### 1 募集期間、意見の送付方法

- 令和7年7月16日（水）～8月15日（金） 31日間

### 2 対象事業

再評価事業 47事業

- くらし環境部 1件 (住宅1件)
- 経済産業部 2件 (農地2件)
- 交通基盤部 44件 (道路4件、河川5件、砂防等27件、港湾7件、街路1件)

### 3 意見募集結果（16事業、21件）※意見詳細は別紙のとおり

No	工種	箇所名	所在地	件数
1	住宅	県営住宅佐鳴湖団地建替整備事業	浜松市	1
2	農地	西浦みかん立保古宇	沼津市	1
3	農地	新神子	御前崎市	1
4	道路	主要地方道吉田大東線	島田市 牧之原市	2
5	道路	一般県道中大見八幡野線	伊東市	1
6	道路	一般県道仙石原新田線	裾野市	1
7	道路	一般県道下土狩徳倉沼津港線 (狩野川第三架橋)	三島市 清水町	2
8	河川	二級河川神宮寺川	浜松市	1
11	河川	二級河川巴川	静岡市	2
12	河川	二級河川馬込川	浜松市	2
22	砂防	俵沢上沢	静岡市	1
31	地すべり	口坂本No.2	静岡市	2
42	港湾	清水港海岸日の出地区	静岡市	1
45	港湾	沼津港海岸千本・我入道地区	沼津市	1
46	港湾	相良港海岸片浜・相良須々木地区	牧之原市	1
47	街路	都市計画道路御殿場小山線	御殿場市	1
		16事業		21件

### 4 意見に対する対応

- 再評価事業への意見に対する県の考え方を別紙のとおり取りまとめた。
- 委員会資料とともに、県のホームページに公表する。

## 令和7年度 公共事業の再評価に関する県民意見

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
1	1	住宅	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	事業継続が望ましいと思います。	引き続き適切な事業進捗管理を行い、計画どおりの事業完了を目指してまいります。
2	2	農地	西浦みかん立保古宇	農道ができたことにより便利になりました。これからも計画的に整備を進めてほしいです。	今後も西浦・内浦地域の農道整備等を計画的に実施し、農業生産の維持・向上や、農業経営の安定化に努めてまいります。
3	3	農地	新神子	近年、地球温暖化等の影響もあり雨の降り方が昔と違ってきている。局所的に1時間に100mmを超えるような雨量を全国で観測しており、静岡県においても豪雨対策は非常に重要であり、早急な対策が望まれる。本地区（新神子地区）においては、令和10年度の完成予定ということであるが、必要な予算を適切に確保し、令和10には確実に完成をお願いしたい。	近年、豪雨等の自然災害が頻発化・激甚化しており、排水路の整備等、早急な豪雨対策の実施が必要であると考えています。よって、今後も必要な予算を確保し計画的に工事を発注することで、令和10年度の事業完了に努めてまいります。
4	4	道路	主要地方道吉田大東線	はばたき橋を渡ってそのままそらと牧之原に行くので便利になると思います。	本事業の実施により、富士山静岡空港周辺のアクセス向上等多様な効果が期待できることから、引き続き予算確保に努め、事業効果が早期に発現できるよう、事業を推進してまいります。
5	4	道路	主要地方道吉田大東線	社会の持続的成長のため必要だと思います。ただ、事業にかかる予算については、充分に計画を検討して、最小限となるようお願いしたいと思います。	必要に応じて計画の検討を行い、コストの縮減を常に意識しながら事業を推進してまいります。
6	5	道路	一般県道中大見八幡野線	歩行者がいるとても危険に感じます。歩道ができることで安全になることを期待しています。	本事業では歩道整備を計画しているため、観光の活性化はもとより歩行者の安全確保に寄与することが期待されます。引き続き予算確保に努め、事業効果が早期に発現できるよう、事業を推進してまいります。
7	6	道路	一般県道仙石原新田線	近年インバウンドが増えていることもあり、箱根から静岡へのアクセスが向上することは、両県にとってプラスになると思います。	本事業の実施により、観光の活性化や円滑な交通等多様な効果が期待できることから、引き続き予算確保に努め、事業効果が早期に発現できるよう、事業を推進してまいります。
8	7	道路	一般県道下土狩徳倉沼津港線 (狩野川第三架橋)	徳倉橋の渋滞解消のために早期完成をお願いします。	狩野川第三架橋の整備により、徳倉橋を含めた周辺地域の慢性的な渋滞を緩和し、安全で円滑な交通を確保します。引き続き、予算確保に努め、事業効果が早期に発現できるよう、事業を推進してまいります。
9	7	道路	一般県道下土狩徳倉沼津港線 (狩野川第三架橋)	毎日、通勤で徳倉橋を通っているが、渋滞に巻き込まれることが多く、通勤時間に渋滞によるタイムロスを考慮しないといけない。 早期に狩野川新橋を整備し、徳倉橋周辺の交通が円滑になることを望む。	
10	8	河川	二級河川神宮寺川	事業の実施自体については特に異存ありません。 「対象事業一覧表」の箇所名の(ふりがな)に誤りが認められますので、全般的に見直しの上、適宜修正願います。	・「じんぐうじかわ」を「じんぐうじがわ」に修正させていただきます。

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
11	11	河川	二級河川巴川	<p>・河川計画 時間当たり69mmの降雨規模（年超過確率1/10規模の降雨）としているが、昨今の雨の状況を踏まえ当該数値の見直しを早期に実施した方がよいと思う。</p> <p>・事業の進捗 巴川本川の整備が進捗率10.6%と他に比べ大きく遅れている。本川整備は、遊水池整備に比べて効果的であると思われるが、最優先で実施するべき事業であるとの印象がある。また、整備として巴川本川の河床掘削があるが、本川の断面拡大等の護岸整備は行わないのか。巴川本川の流下能力に余裕がないため周辺支川の河川が溢れている現状があるため、本川の強化を優先させてほしい。</p>	<p>・河川計画 今後の気候変動による予測される将来の降雨量の増加等を考慮した計画へ、見直しを検討しています。</p> <p>・事業の進捗 現在の計画では、河床を掘削し掘り下げることで必要な河道断面を確保する計画としています。なお、掘削にあたっては、橋梁の架け替えが必要な箇所があるため、整備に時間を要しております。今後も関係機関と連携し、速やかに整備を進められるよう調整を図っていきます。</p>
12	11	河川	二級河川巴川	<p>・令和20年度に整備完了の計画となっているが、直近及び将来的に大雨が多発してい中、現計画の時間当たり69mmの降雨規模に対しての整備で良いのか。 令和20年度に整備が完了した段階で機能不足にならないのか。巴川の進捗は令和7年度見込みで事業進捗が10.6%なのでまだ計画雨量の変更が可能ではないのか。将来を見込んでより効果的な投資をしてもらいたい。整備後における整備目標規模の氾濫シミュレーション結果によると84%減となり現計画に対しては効果が伺えるが、整備目標規模の整備前の浸水範囲より令和4年台風15号の浸水範囲のほうが広く、全国各地で台風、線状降水帯等で大雨が多発しており、現計画降雨量での整備では将来的な効果が期待できず、積極的に整備計画を見直す必要があると感じる。</p> <p>・令和7年度見込みで麻機遊水地が100%になっているが、事業箇所位置図に将来計画が示されている。この将来計画は本整備計画に対する事業なのか、異なる事業なのか不明。</p>	<p>・現在は年超過確率1/10規模の降雨を対象とした整備を実施していますが、より大きな規模の降雨にも対応できるよう、引き続き着実に段階的な治水安全度の向上を図っていきます。</p> <p>・将来計画とは、本事業の対象とはしていない、将来的な整備を目指している箇所となっています。</p>
13	12	河川	二級河川馬込川	昔と比較し近年、雨の降り方が激しくなっていると感じている。特に令和4年9月の台風の豪雨では、市内のあちらこちらで浸水被害が起きた。私も馬込川の近くに住んでいるが、昨年度河川の水位が上がったことで夜中に緊急のアラートメールが来ることが何度かあった。また、最近では、ロシアの半島で起きた地震の津波警報が発令された。これらのことから、浜松市内の河川の改修や馬込川の水門の整備を引き続き行ってもらいたい。	<p>・洪水対策については、令和4年9月の台風第15号で記録された降雨は、河川整備の水準を大きく上回るものであり、河川の氾濫（外水氾濫）、河川への排水不良（内水氾濫）などによる浸水被害が、県中西部を中心に各地で発生しました。これを受け、馬込川流域においても、氾濫による被害を減少させ早期に復旧するための具体的な対策を取りまとめた「水災害対策プラン」を令和6年3月に策定したところです。引き続き、流域治水協議会において実効性のある取組となるよう関係者間の情報共有や対策の進捗管理を行い、プランに基づく取組を着実に進めてまいります。</p> <p>・津波対策については、南海トラフ巨大地震では、浜松市沿岸域において、最大で4,000haを超える地区での浸水が想定されており、防潮堤と合わせた本水門の整備により、約89%の浸水域の解消が期待されていることから、令和9年度の完成に向け、確実な事業進捗を図ってまいります。</p>
14	12	河川	二級河川馬込川	事業の実施自体については特に異存ありません。 「対象事業一覧表」の箇所名の(ふりがな)に誤りが認められますので、全般的に見直しの上、適宜修正願います。	・「まごめかわ」を「まごめがわ」に修正させていただきます。
15	22	砂防	俵沢上沢	事業の実施自体については特に異存ありません。 「対象事業一覧表」の箇所名の(ふりがな)に誤りが認められますので、全般的に見直しの上、適宜修正願います。	ご指摘のとおり、資料を修正しました。
16	31	地すべり	口坂本No.2	近年の大雪により、土砂災害が発生することを不安に感じている。毎年、県内で多くの土砂災害が起こっているため、早期整備を目指してほしいです。今回のこの地すべり事業は、人家や道路を保全するようですので、事業を継続して住民の生命と財産を守ってほしいです。	<p>地すべり対策においては、人家、公共建物、河川、道路等の公共施設に対する被害を軽減するため、防止施設の整備を進めています。</p> <p>当地区におきましても、引き続き予算の確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。</p>

番号	事業No.	事業名	箇所名	ご意見	意見に対する県の考え方
17	31	地すべり	口坂本No.2	6月12日の口坂本の自主防災訓練の時、避難訓練のサイレンが鳴りませんでした。その後何回も電気屋さんが調整してくれたようですが現在無線とサイレンが鳴らない状態です。口坂本地区は旧盆で8月13日～15日まで口坂本地区の方の初盆なので応募用紙は8月15日の午後ここから一番近い17km下の玉川の郵便局から送ります。口坂本にあった郵便ポストは昨年撤去されたためです。現在雨が降っても井川大日峰の時間雨量、連続雨量の放送がありません。	6月の自主防災訓練において、静岡市が管理する無線やサイレン等の警報装置が正常に作動しなかったため、市とともに施設の緊急点検を行ったところ、土石流センサー（県管理）と警報装置を繋ぐ、県が管理するケーブルが破断し、警報装置が作動しない状態となっておりました。このため、県が9月までにケーブルの復旧工事を行い、市とともに警報装置が正常に作動することを確認しました。住民の早期避難に資する施設であることから、今後も静岡市と連携し、施設の適切な管理に努めてまいります。
18	42	港湾	清水港海岸 日の出地区	地元民として、事業の早期完成を願います。	本事業により海岸防潮堤等を整備することにより、想定される百数十年に一回程度のレベル1地震に耐え、その地震による津波から背後地の浸水被害を防ぐことを目的としております。 想定される最大級の津波に対しては、海岸防潮堤が粘り強く機能して減災効果を発揮するとともに、避難時間を稼ぐことにもつながることから、事業の早期完成を目指し、引き続き事業を推進してまいります。
19	45	港湾	沼津港海岸 千本・我入道地区	沼津港は多くの観光客で賑わっていることからも、事業の早期完成を期待しています。	本事業により海岸防潮堤等を整備することにより、想定される百数十年に一回程度のレベル1地震に耐え、その地震による津波による背後地への被害を防ぐことを目的としてることができます。 想定される最大級の津波に対しては、海岸防潮堤が粘り強く機能して減災効果を発揮するとともに、地域住民やその地を訪れる観光客の方などの避難時間を稼ぐことにもつながることから、事業の早期完成を目指し、今後も引き続き事業を推進してまいります。
20	46	港湾	相良港海岸 片浜・相良須々木地区	昨年度は南海トラフ臨時情報が発表される等、地震発生の危険が高まっているように感じる。人命や財産を津波から守るためにも、早期の事業完了を望みます。	南海トラフで発生する地震・津波については、これまでにも切迫性が指摘されてきましたが、昨年度、南海トラフ臨時情報が発表される等、危機意識も非常に高まっております。 本事業により海岸防潮堤等を整備することにより、想定される百数十年に一回程度のレベル1地震に耐え、その地震による津波による背後地への被害を防ぐことを目的としております。 想定される最大級の津波に対しては、海岸防潮堤が粘り強く機能して減災効果を発揮するとともに、避難時間を稼ぐことにもつながることから、事業の早期完成を目指し、引き続き事業を推進してまいります。
21	47	街路	都市計画道路御殿場小山線	継続に賛成します。週末に御殿場駅前をよく車で通りますが、渋滞している時が多いです。道路拡幅により交通の円滑化を図ることで期待しています。駅前では歩道の工事が進んでいるようで、旅行者など歩いている姿もよく見かけますが、まだ工事中の感じがするので、早く完成していただき、きれいな駅前になればよいと思っています。	本工区および本工区と交差する都市計画道路新橋茱萸沢線の整備により、御殿場駅周辺の渋滞解消が図られ、交通の円滑化等の効果が期待できることから、引き続き、整備を進めてまいります。